

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
 5. 横須賀市政記者クラブ
- 令和4年10月31日同時配布



令和4年10月31日
国土技術政策総合研究所

令和4年度国総研講演会を開催します ～今年のメインテーマは「気候変動への対応」～

国総研は、12月8日（木）に国総研講演会を開催します。「気候変動への対応」をメインテーマに、慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授 伊香賀俊治氏による特別講演、国総研の研究者による講演を実施します。

1. 日 時 : 令和4年12月8日（木）10:00～17:00
2. 場 所 : 日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）
※当日はオンライン配信も併せたハイブリッド開催を予定しております。
3. プログラム : 詳細は別添資料参照
 - ・ 10:00～12:10
一般講演（10:10～12:10）
 - ・ 13:10～16:45（途中休憩あり）
特別講演（13:10～14:15）
一般講演（14:30～16:45）
4. 参加申込み : 定員 800名（内会場 300名、ライブ配信 500名）
11月28日（月）までに、「国総研」のホームページからお申込みください。
<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/koen2022.html>
なお、本講演は土木学会 CPD プログラムの単位認定を受けております。
(5.4単位)

○報道機関の皆様へ

講演会当日に取材を希望される場合は、12月2日（金）までに以下を記載の上、メールにて、nil-kouenkai@milt.go.jp までご連絡ください。

- ・ 件名 : 【取材希望】国総研講演会
- ・ 本文 : 「氏名（ふりがな）」「所属」「メールアドレス」「直通電話番号」

取材は1社につき1名までとさせていただきます。

会場の都合上、席に限りがございますので、予めご了承ください。

【問い合わせ先】

国土交通省 国土技術政策総合研究所

企画部 企画課 主任研究官 田中、企画係 齊藤、須藤

TEL:026-864-2674 FAX:029-864-1527 E-Mail:nil-kouenkai@milt.go.jp

「令和4年度国総研講演会」プログラム

1. 日時： 令和4年12月8日（木）10：00～17：00
 2. 場所： 日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

時間	所属・氏名	タイトル・概要
10:00 ~ 10:10	所長 奥村 康博	開会の挨拶
10:10 ~ 10:30	土砂災害研究部 深層崩壊対策研究官 秋山 一弥	【近年発生した土砂災害の特徴と気候変動】 近年は大規模な土砂災害を伴う豪雨が頻発しており、今年の8月には東北から北陸地方で線状降水帯が発生して大雨となり、各地で土砂災害が発生した。 講演では、近年発生した土砂災害の特徴および豪雨と土砂災害に関する研究内容を紹介します。
10:30 ~ 10:50	河川研究部長 福濱 方哉	【気候変動に向けた「洪水危険度の見える化」の取り組み】 豪雨災害が激甚化・頻発化している中、国総研では「洪水危険度の見える化」に取り組んでおり、洪水氾濫の切迫度をリアルタイムで伝えることができるような水位情報提供システム（水害リスクライン）の開発状況等を紹介します。
10:50 ~ 11:10	道路構造物研究部長 福田 敬大	【道路構造物研究部における気候変動への対応～近年の道路構造物の豪雨被害への取り組み～】 豪雨による近年の道路構造物の被害事例（河川隣接区間での道路崩壊や橋脚沈下等）と道路構造物研究部の現地支援について紹介すると共に、洪水・豪雨に対する道路構造物の強靱化に関する調査研究の取り組みについて報告する。
11:10 ~ 11:30	沿岸海洋・防災研究部長 浅井 正	【沿岸海洋・防災研究部における気候変動への対応と最新の話題について】 気候変動への緩和策である脱炭素化に向けたブルーカーボンの貯留効果やその効果等の評価手法等に関する研究と、適応策の検討に向けた高潮・波浪等の災害リスクへの影響やその対策手法等に関する研究について最新の話題を紹介する。
11:30 ~ 11:50	港湾研究部長 酒井 浩二	【港湾分野の気候変動対応と港湾研究部の研究動向】 我が国においては2050年カーボンニュートラルが喫緊の課題となっており、港湾における積極的な取組が期待されています。 ここではカーボンニュートラルポート（CNP）施策の進展と、CNPに資するソフト・ハードに関する研究について紹介します。
11:50 ~ 12:10	空港研究部長 丹生 清輝	【航空・空港分野の気候変動対応と空港研究部の研究動向】 各分野でカーボンニュートラルの取組が進められる中、空港でもその推進への取組が求められている。ここでは、脱炭素化に向けた取組の他に、近年の空港研究部の研究内容について、紹介する。
12:10 ~ 13:10		休憩
13:10 ~ 14:15	慶應義塾大学理工学部 システムデザイン工学科教授 伊香賀 俊治	<特別講演> 住宅・社会資本分野における気候変動への対応 ～住宅の省エネ対策による幼児から高齢者の健康への影響を中心として～
14:15 ~ 14:30		休憩
14:30 ~ 14:50	下水道研究部長 三宮 武	【気候変動緩和に向けた下水道技術のアプローチ】 下水道事業では、処理の過程で直接及び間接的に気候変動の要因となる温室効果ガスを排出している。 当研究部の調査・研究を中心に、温室効果ガス削減、すなわち、気候変動緩和に向けた取組をご報告する。
14:50 ~ 15:10	道路交通研究部長 高宮 進	【気候変動緩和に向けた道路交通研究部の取り組み】 自動車への依存を低減し自転車の利用を促進するための自転車通行空間評価手法に関する研究など、低炭素化や気候変動緩和に向けた道路交通研究部の取組みのほか、近年の道路交通研究部の研究内容について紹介する。
15:10 ~ 15:30	社会資本マネジメント 研究センター長 齋藤 博之	【気候変動を見据えた社会資本マネジメント研究の今後の方向】 地球温暖化の緩和策として、建設生産プロセスにおいても、カーボンニュートラルやグリーンインフラの推進が求められている。 社会資本マネジメント研究センターにおいて、これまで実施してきたデジタルトランスフォーメーション、施工の合理化等のカーボンニュートラル等に資する研究を概説するとともに、今後の研究の方向性について紹介する。
15:30 ~ 15:45		休憩
15:45 ~ 16:05	建築研究部長 長谷川 洋	【建築研究部における気候変動への取り組み～木材利用の促進と今後の展開～】 炭素貯蔵効果の高い木材の建築物への利用促進を図るため、CLT等を用いた木造と他の構造との混構造建築物の設計・施工技術に関して実施した研究の成果について紹介する。 また、建築分野での気候変動対策を進めるための今後の研究展開について紹介する。
16:05 ~ 16:25	住宅研究部長 眞方山 美穂	【気候変動対策として求められる住宅・建築物の脱炭素化～ 既存ストックの省エネ改修の取り組み ～】 住宅・建築物の脱炭素化に向けては、新築だけではなく大量に存在する既存ストックについても、省エネ性能向上のための対策が急務となっている。 ここでは、既存ストックの省エネ改修を中心に住宅研究部の取組を紹介する。
16:25 ~ 16:45	都市研究部長 村上 晴信	【都市分野の研究開発の最新動向～気候変動への対応を中心として～】 IoT等の新技術の活用により都市問題の解決を図るスマートシティが期待されている。 令和4年10月に国総研が公表した「スマートシティ事例集【導入編】」より、気候変動関係の都市問題とその解決のための新技術の事例を紹介する。
16:45 ~ 16:55	研究総務官 佐々木 隆	総括
16:55 ~ 17:00	副所長 高野 誠紀	閉会の挨拶